

第6期 鷹栖町障がい福祉計画 アンケート集計表

■アンケート調査の概要

実施年	発送総数	回答数	回収率
2017年	577	233	40.4%
2020年	553	276	49.9%

問1 回答者

実施年	本人	家族	施設職員	その他	無回答
2017年	158	54	11	0	10
2020年	170	73	15	1	17

問2 年齢

実施年	0-17歳	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-64歳	65-74歳	75歳以上	無回答
2017年	17	14	13	19	46	45	79	0
2020年	18	20	7	21	51	49	106	4

問3 性別

実施年	男性	女性	その他	無回答
2017年	115	117	0	1
2020年	138	133	1	4

問4 世帯構成

実施年	ひとり暮らし	夫婦のみ世帯	その他世帯	無回答
2017年	22 9.4%	55 23.6%	139 59.7%	16 6.9%
2020年	47 17.0%	85 30.8%	139 50.4%	5 1.8%

問5 障害者手帳などの取得状況(複数回答可)

実施年	身体1級	身体2級	身体3級	身体4級	身体5級	身体6級	療育A	療育B	精神1級	精神2級	精神3級	指定難病	小児慢性	不所持	合計
2017年	39	29	21	44	13	11	20	21	0	8	4	3	1	23	237
2020年	42	29	29	51	14	16	23	22	1	11	6	3	1	30	278

問6 身体障がいの種類(複数回答可)

実施年	視覚	聴覚・平衡機能	音声・言語・そしゃく機能	上肢不自由	下肢不自由	体幹不自由	運動機能障害	内部障害
2017年	8	22	4	36	75	23	0	26
2020年	11	21	4	38	86	11	1	33

問7 難病(指定難病)の認定

実施年	受けている	受けていない	無回答
2020年	28 10.1%	216 78.3%	32 11.6%

問8 発達障害の診断

実施年	ある	ない	無回答
2020年	26 9.4%	216 78.3%	34 12.3%

問9 定期的な病院通院

実施年	通院している		通院していない		無回答	
2017年	207	88.8%	26	11.2%	0	0.0%
2020年	228	82.6%	41	14.9%	7	2.5%

問10 主な通院先

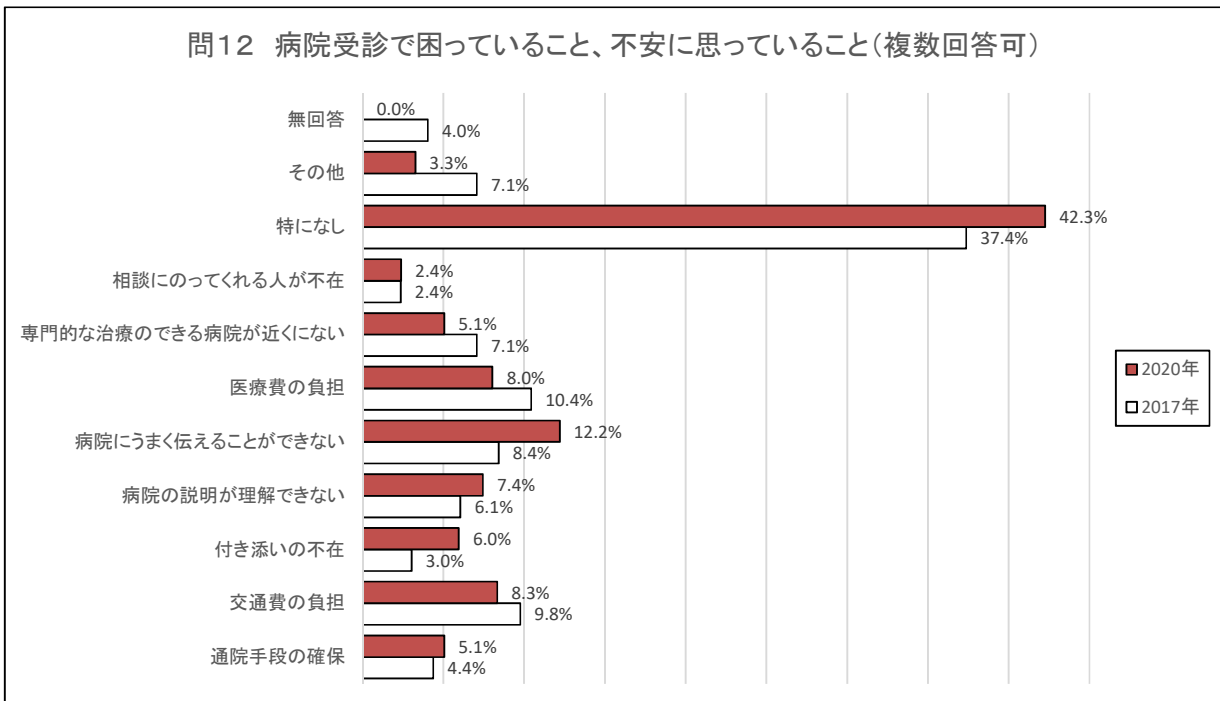
実施年	旭川市内		鷹栖町内		上川管内		北海道内		北海道外		無回答	
2017年	174	80.9%	30	14.0%	4	1.9%	6	2.8%	0	0.0%	1	0.5%
2020年	185	78.7%	34	14.5%	7	3.0%	4	1.7%	1	0.4%	4	1.7%

問11 平均通院回数

実施年	週1回以上	1か月に1回以上	2~3か月に1回以上	4か月~半年に1回以上	1年に1回程度	数年に1回程度	その他	無回答
2017年	13 6.0%	95 44.0%	75 34.7%	10 4.6%	14 6.5%	1 0.5%	5 2.3%	3 1.4%
2020年	17 7.2%	102 43.4%	73 31.1%	10 4.3%	20 8.5%	1 0.4%	7 3.0%	5 2.1%

問12 病院受診で困っていること、不安に思っていること(複数回答可)

実施年	通院手段の確保	交通費の負担	付き添いの不在	で病 きの 院の ない 説明 が理 解	る病 こ院 とに がう でま きく な伝 え	医療 費の 負担	なき る専 門的 な病 院が 近療 くの にで	る相 談に のつ てく れ	特になし	その他	無回答
2017年	13 4.4%	29 9.8%	9 3.0%	18 6.1%	25 8.4%	31 10.4%	21 7.1%	7 2.4%	111 37.4%	21 7.1%	12 4.0%
2020年	17 5.1%	28 8.3%	20 6.0%	25 7.4%	41 12.2%	27 8.0%	17 5.1%	8 2.4%	142 42.3%	11 3.3%	0 0.0%



問13 現在受けている医療的ケア(複数回答可)

実施年	何も受けていない	導尿	膀胱留置カテーテル	膀胱瘻	胃瘻	腸瘻	経鼻栄養	中心静脈栄養	透析	腹膜透析	ストマ	在宅酸素	痰吸引	気管切開	人工呼吸器	医師伝達装置	その他
2017年	148	7	0	3	2	1	0	1	7	0	4	1	0	2	2	0	21
2020年	185	3	1	1	2	0	0	2	8	1	7	5	0	0	1	0	25

問14 現在の住まい

実施年	持ち家	賃貸住宅	グループホーム	施設入所	その他	無回答
2017年	165 70.8%	36 15.5%	9 3.9%	18 7.7%	5 2.1%	2 0.9%
2020年	191 69.2%	35 12.7%	14 5.1%	27 9.8%	5 1.8%	4 1.4%

問15 将来希望する生活

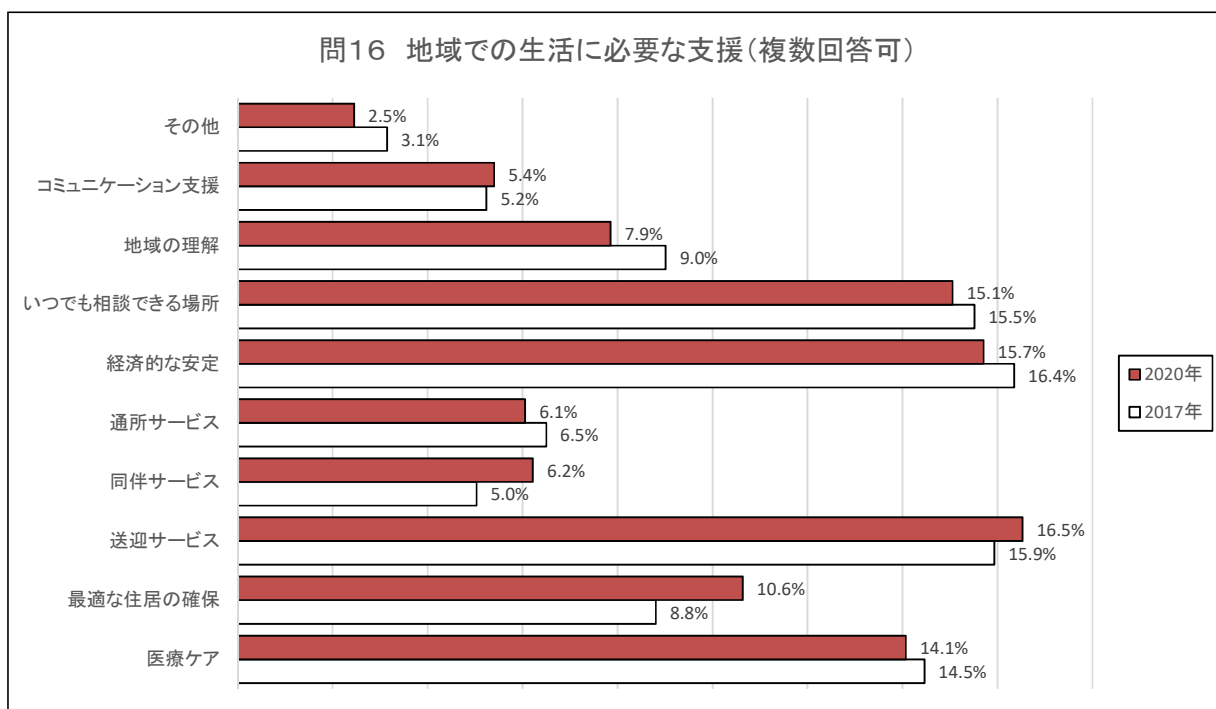
実施年	持ち家	賃貸住宅	グループホーム	施設入所	その他	無回答
2017年	142 60.9%	21 9.0%	13 5.6%	20 8.6%	18 7.7%	19 8.2%
2020年	157 56.9%	25 9.1%	24 8.7%	21 7.6%	19 6.9%	30 10.9%

問15 グループホームや施設入所希望者の希望時期

実施年	すぐに	5年以内	5年以上先
2017年	2 8.0%	6 24.0%	17 68.0%
2020年	3 11.1%	5 18.5%	19 70.4%

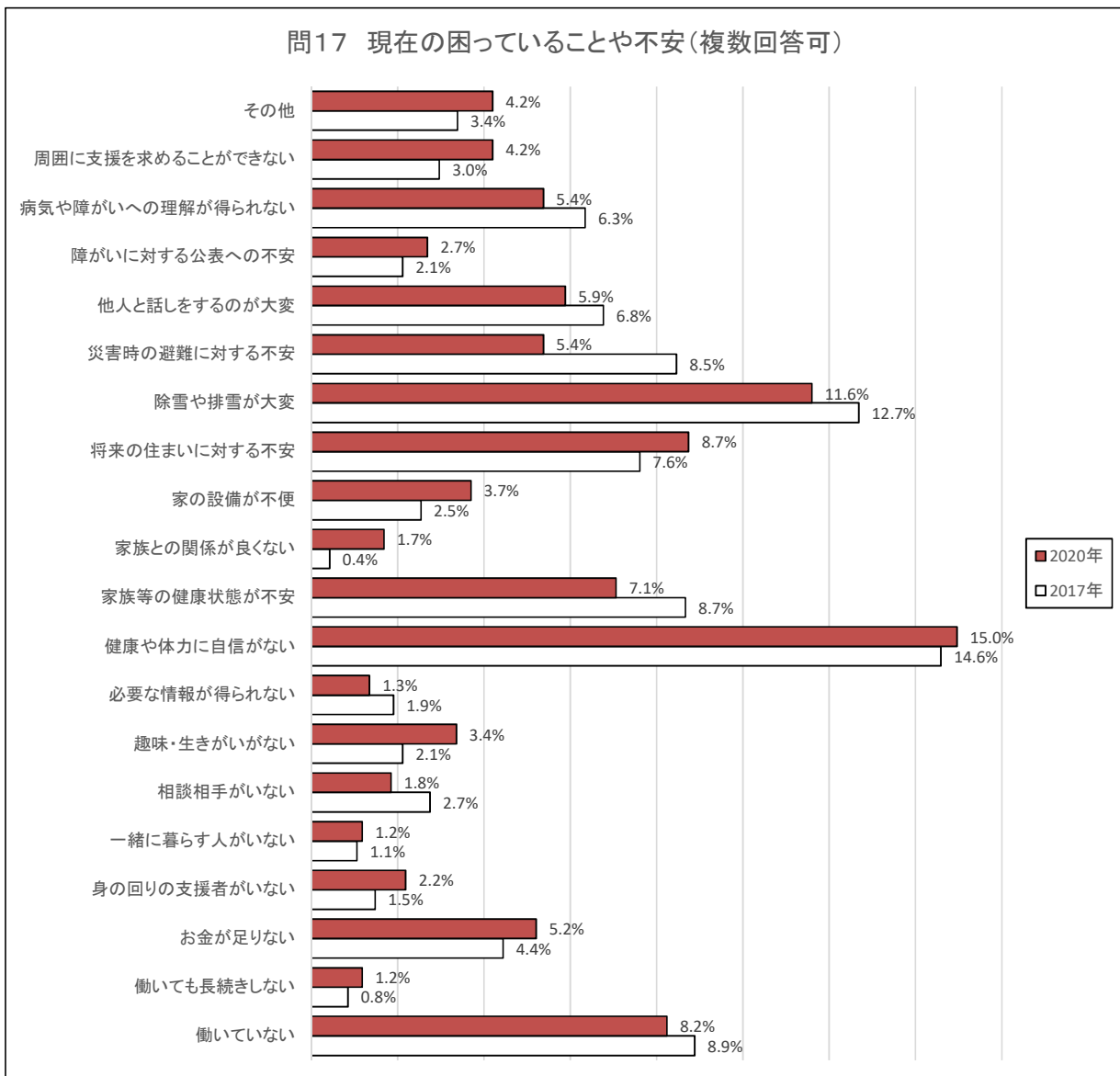
問16 地域での生活に必要な支援(複数回答可)

実施年	医療ケア	最適な住居の確保	送迎サービス	同伴サービス	通所サービス	経済的な安定	いつでも相談できる場所	地域の理解	支援 コミュニケーション	その他
2017年	69 14.5%	42 8.8%	76 15.9%	24 5.0%	31 6.5%	78 16.4%	74 15.5%	43 9.0%	25 5.2%	15 3.1%
2020年	86 14.1%	65 10.6%	101 16.5%	38 6.2%	37 6.1%	96 15.7%	92 15.1%	48 7.9%	33 5.4%	15 2.5%



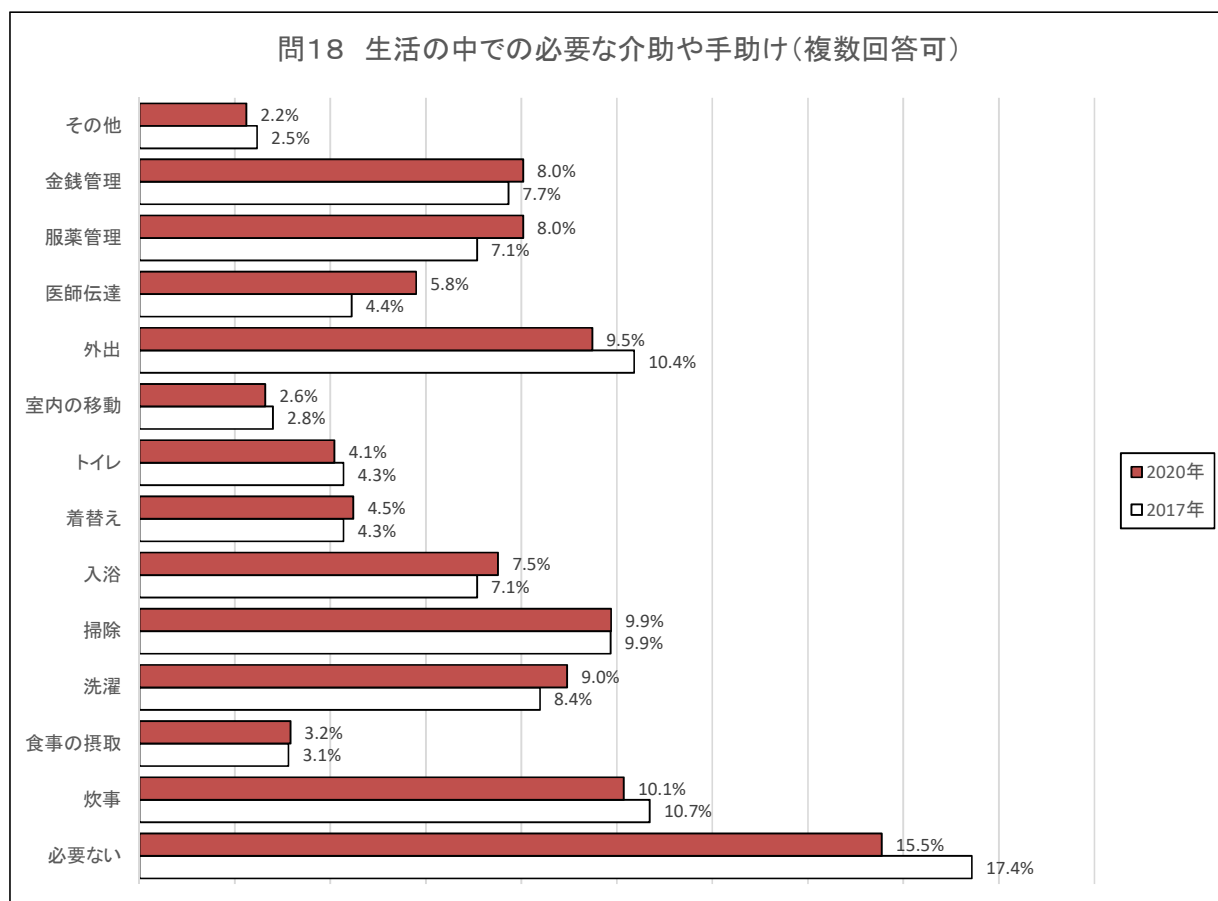
問17 現在の困っていることや不安(複数回答可)

実施年	働いていない	働いても長続きしない	お金が足りない	身の回りの支援者がいない	一緒に暮らす人がいない	相談相手がいない	趣味・生きがいがない	必要な情報が得られない	健康や体力に自信がない	家族等の健康状態が不安	家族との関係が良くない	家の設備が不便	将来の住まいに対する不安	除雪や排雪が大変	災害時の避難に対する不安	他人と話しをするのが大変	障がいに対する公表への不安	病気や障がいへの理解が得られない	周囲に支援を求めることができない	その他
2017年	42 8.9%	4 0.8%	21 4.4%	7 1.5%	5 1.1%	13 2.7%	10 2.1%	9 1.9%	69 14.6%	41 8.7%	2 0.4%	12 2.5%	36 7.6%	60 12.7%	40 8.5%	32 6.8%	10 2.1%	30 6.3%	14 3.0%	16 3.4%
2020年	49 8.2%	7 1.2%	31 5.2%	13 2.2%	7 1.2%	11 1.8%	20 3.4%	8 1.3%	89 15.0%	42 7.1%	10 1.7%	22 3.7%	52 8.7%	69 11.6%	32 5.4%	35 5.9%	16 2.7%	32 5.4%	25 4.2%	25 4.2%



問18 生活の中での必要な介助や手助け(複数回答可)

実施年	必要ない	炊事	食事の摂取	洗濯	掃除	入浴	着替え	トイレ	室内の移動	外出	医師伝達	服薬管理	金銭管理	その他
2017年	106 17.4%	65 10.7%	19 3.1%	51 8.4%	60 9.9%	43 7.1%	26 4.3%	26 4.3%	17 2.8%	63 10.4%	27 4.4%	43 7.1%	47 7.7%	15 2.5%
2020年	118 15.5%	77 10.1%	24 3.2%	68 9.0%	75 9.9%	57 7.5%	34 4.5%	31 4.1%	20 2.6%	72 9.5%	44 5.8%	61 8.0%	61 8.0%	17 2.2%

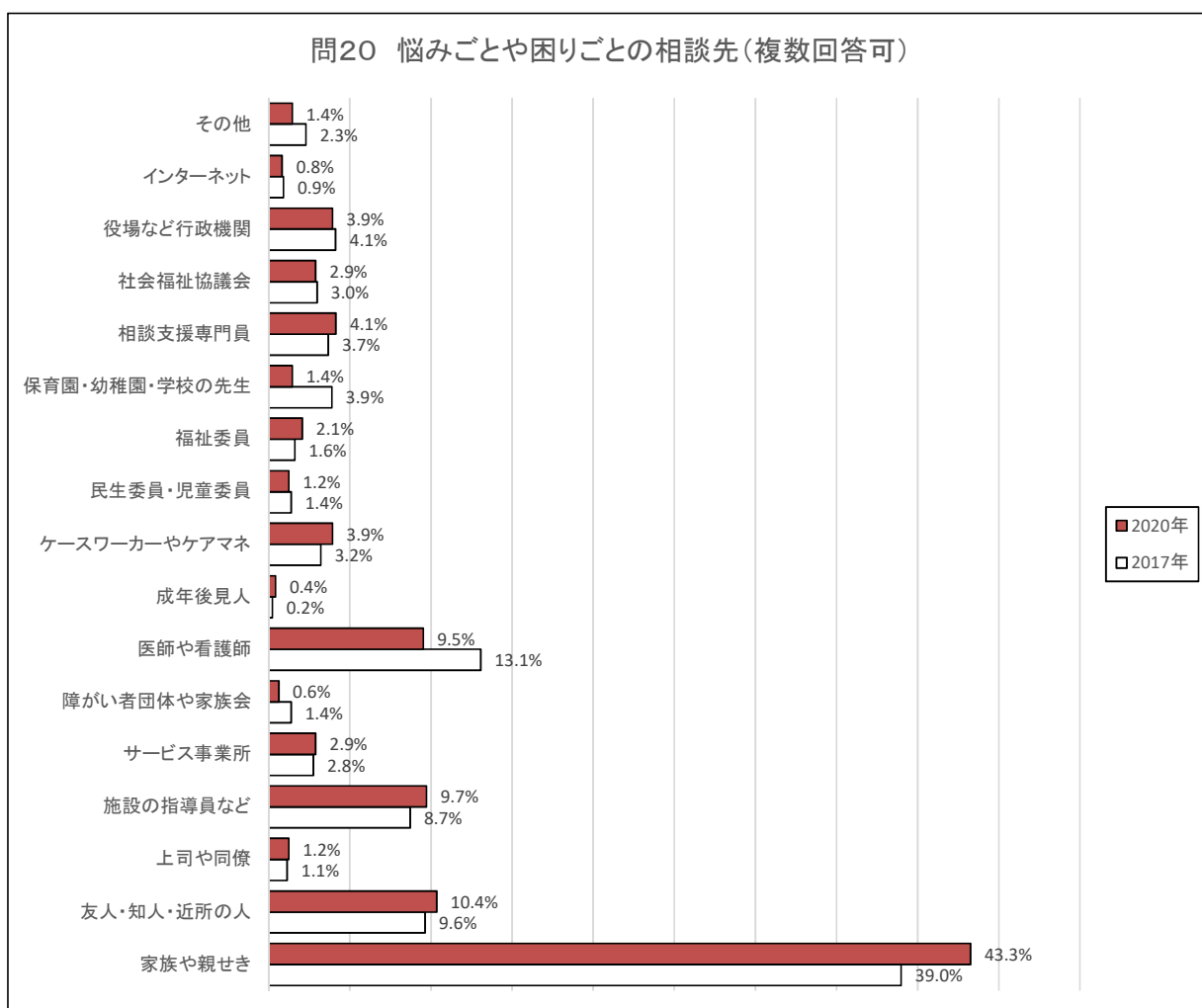


問19 必要ときに介助や手助けをしてくれる人の有無

実施年	いる	いない	必要ない	その他	無回答
2017年	182 78.1%	14 6.0%	24 10.3%	6 2.6%	8 3.4%
2020年	210 76.1%	21 7.6%	29 10.5%	2 0.7%	14 5.1%

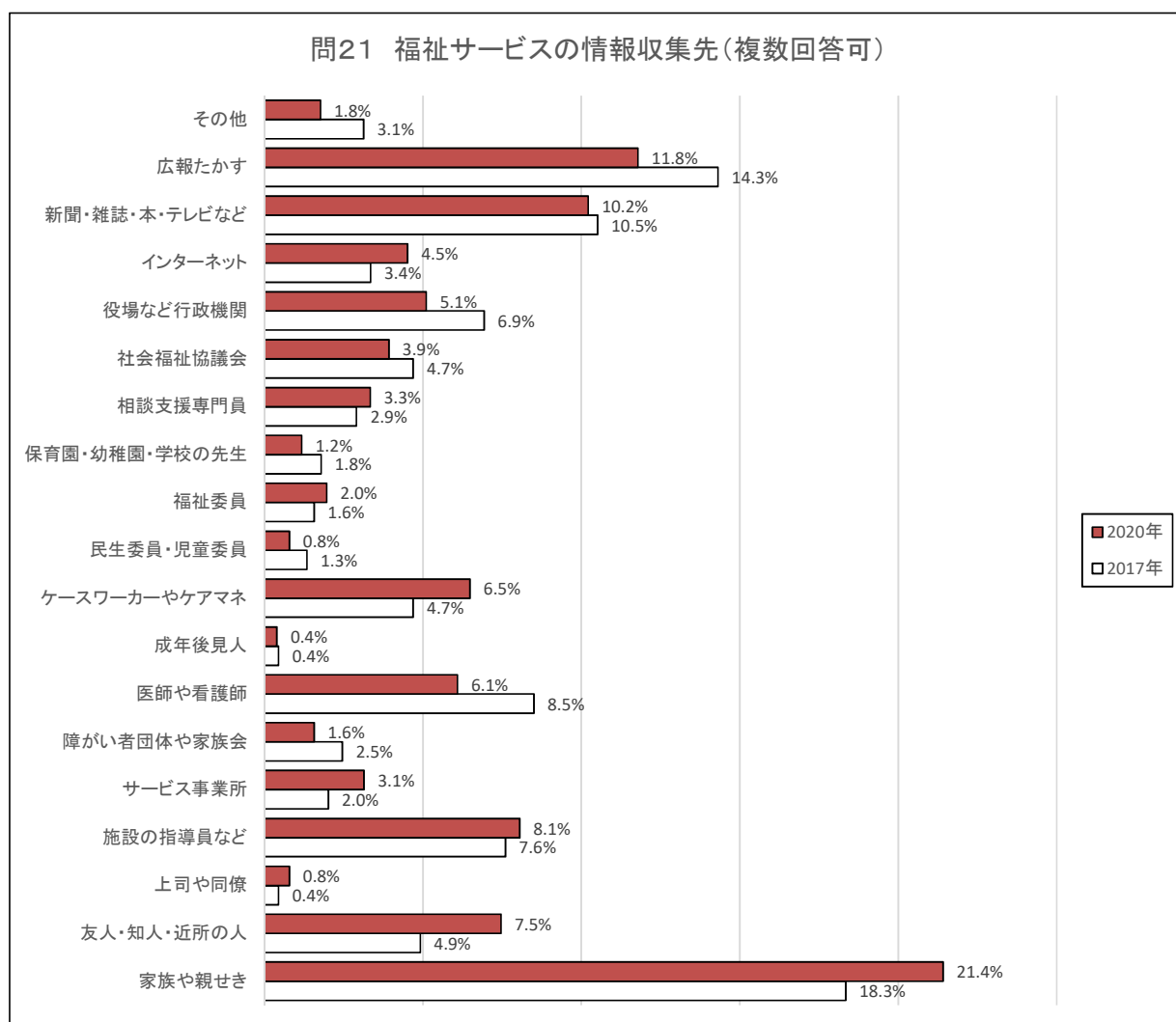
問20 悩みごとや困りごとの相談先(複数回答可)

実施年	家族や親せき	友人・知人・近所の人	上司や同僚	施設の指導員など	サービス事業所	障がい者団体や家族会	医師や看護師	成年後見人	ケースワーカーやケアマネ	民生委員・児童委員	福祉委員	保育園・幼稚園・学校の先生	相談支援専門員	社会福祉協議会	役場など行政機関	インターネット	その他
2017年	170 39.0%	42 9.6%	5 1.1%	38 8.7%	12 2.8%	6 1.4%	57 13.1%	1 0.2%	14 3.2%	6 1.4%	7 1.6%	17 3.9%	16 3.7%	13 3.0%	18 4.1%	4 0.9%	10 2.3%
2020年	209 43.3%	50 10.4%	6 1.2%	47 9.7%	14 2.9%	3 0.6%	46 9.5%	2 0.4%	19 3.9%	6 1.2%	10 2.1%	7 1.4%	20 4.1%	14 2.9%	19 3.9%	4 0.8%	7 1.4%



問21 福祉サービスの情報収集先(複数回答可)

実施年	家族や親せき	友人・知人・近所の人	上司や同僚	施設の指導員など	サービス事業所	障がい者団体や家族会	医師や看護師	成年後見人	ケースワーカーやケアマネ	民生委員・児童委員	福祉委員	保育園・幼稚園・学校の先生	相談支援専門員	社会福祉協議会	役場など行政機関	インターネット	新聞・雑誌・本・テレビなど	広報たかす	その他
2017年	82 18.3%	22 4.9%	2 0.4%	34 7.6%	9 2.0%	11 2.5%	38 8.5%	2 0.4%	21 4.7%	6 1.3%	7 1.6%	8 1.8%	13 2.9%	21 4.7%	31 6.9%	15 3.4%	47 10.5%	64 14.3%	14 3.1%
2020年	109 21.4%	38 7.5%	4 0.8%	41 8.1%	16 3.1%	8 1.6%	31 6.1%	2 0.4%	33 6.5%	4 0.8%	10 2.0%	6 1.2%	17 3.3%	20 3.9%	26 5.1%	23 4.5%	52 10.2%	60 11.8%	9 1.8%

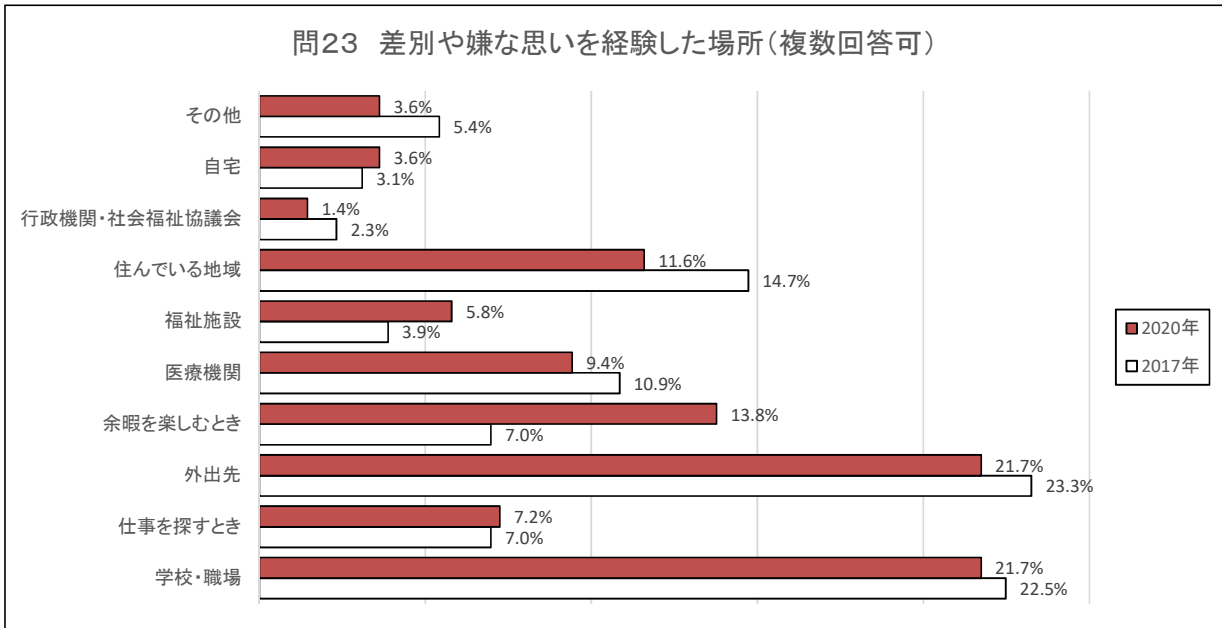


問22 障がい者であるために生じた差別や嫌な思いの経験

実施年	ある	少しある	ない	無回答
2017年	33 14.2%	50 21.5%	138 59.2%	12 5.2%
2020年	34 12.3%	50 18.1%	161 58.3%	31 11.2%

問23 差別や嫌な思いを経験した場所(複数回答可)

実施年	学校・職場	仕事を探すとき	外出先	余暇を楽しむとき	医療機関	福祉施設	住んでいる地域	協議会 行政機関・社会福祉	自宅	その他
2017年	29 22.5%	9 7.0%	30 23.3%	9 7.0%	14 10.9%	5 3.9%	19 14.7%	3 2.3%	4 3.1%	7 5.4%
2020年	30 21.7%	10 7.2%	30 21.7%	19 13.8%	13 9.4%	8 5.8%	16 11.6%	2 1.4%	5 3.6%	5 3.6%



問24 差別や嫌な思いを経験したときの相談先

実施年	相談していない	家族・友人・知人	行政機関や通所施設の職員	無回答
2017年	46 33.6%	32 23.4%	10 7.3%	49 35.8%
2020年	38 33.3%	43 37.7%	7 6.1%	26 22.8%

問25 「障害者差別解消法」の認知度

実施年	名前も内容も知ってる	内容は知らない	知らない	無回答
2017年	25 10.7%	42 18.0%	149 63.9%	17 7.3%
2020年	25 9.1%	55 19.9%	167 60.5%	29 10.5%

問26 「障害者虐待防止法」の認知度

実施年	名前も内容も知ってる	内容は知らない	知らない	無回答
2017年	26 11.2%	59 25.3%	132 56.7%	16 6.9%
2020年	33 12.0%	59 21.4%	145 52.5%	39 14.1%

問27 「成年後見制度」の認知度

実施年	名前も内容も知ってる		内容は知らない		知らない		無回答	
2017年	56	24.0%	65	27.9%	90	38.6%	20	8.6%
2020年	68	24.6%	70	25.4%	113	40.9%	25	9.1%

問28 「成年後見制度」の利用状況

実施年	利用していない	後見人がいる	保佐人がいる	補助人がいる	任意後見人がいる	無回答
2017年	151	6	0	3	0	5
2020年	61	3	1	2	0	26

問29 「成年後見制度」を知りつつも、利用していない理由

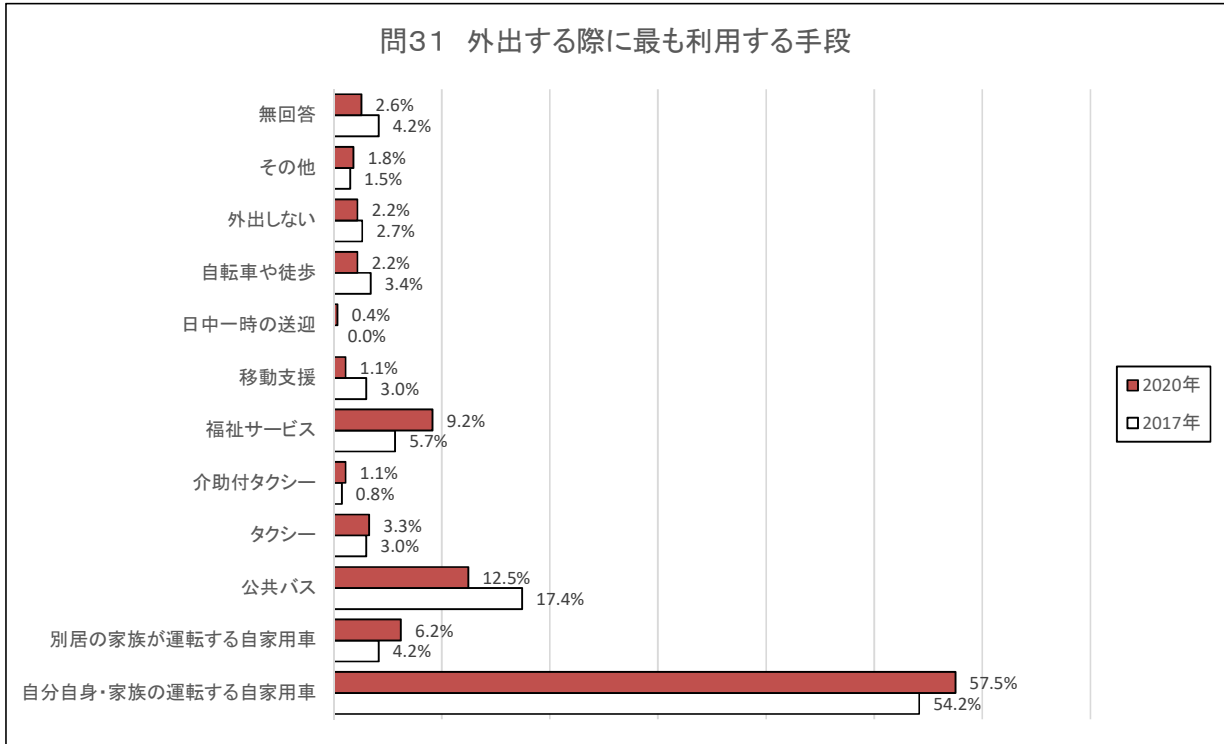
実施年	必要ない		事務手続きが難しい		まだ早い		お金がない		相談先がわからない		その他	
2017年	104	77.0%	1	0.7%	16	11.9%	3	2.2%	2	1.5%	9	6.7%
2020年	152	68.5%	3	1.4%	27	12.2%	6	2.7%	12	5.4%	22	9.9%

問30 成年後見人の担当希望

実施年	親族		法律の専門家		福祉の専門家		市民後見人		わからない		無回答	
2017年	101	43.3%	7	3.0%	12	5.2%	1	0.4%	69	29.6%	43	18.5%
2020年	131	47.5%	6	2.2%	18	6.5%	6	2.2%	72	26.1%	43	15.6%

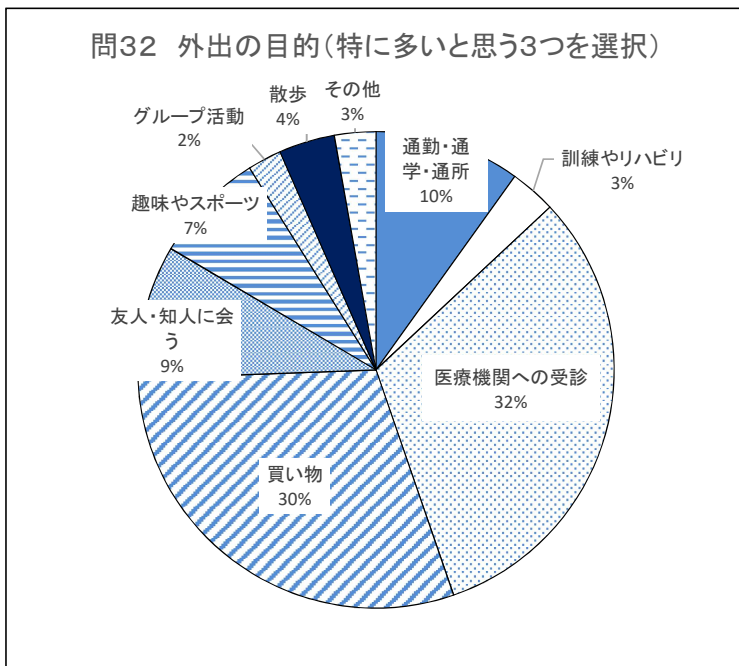
問31 外出する際に最も利用する手段

実施年	転自 ず分 る自 自身 用家 車・ 家族 の運	る別 自居 の家 用家 族が 運 転す	公 共 バ ス	タ ク シ ー	介 助 付 タ ク シ ー	福 祉 サ ー ビ ス	移 動 支 援	日 中 一 時 の 送 迎	自 転 車 や 徒 歩	外 出 し な い	そ の 他	無 回 答
2017年	143 54.2%	11 4.2%	46 17.4%	8 3.0%	2 0.8%	15 5.7%	8 3.0%	0 0.0%	9 3.4%	7 2.7%	4 1.5%	11 4.2%
2020年	157 57.5%	17 6.2%	34 12.5%	9 3.3%	3 1.1%	25 9.2%	3 1.1%	1 0.4%	6 2.2%	6 2.2%	5 1.8%	7 2.6%



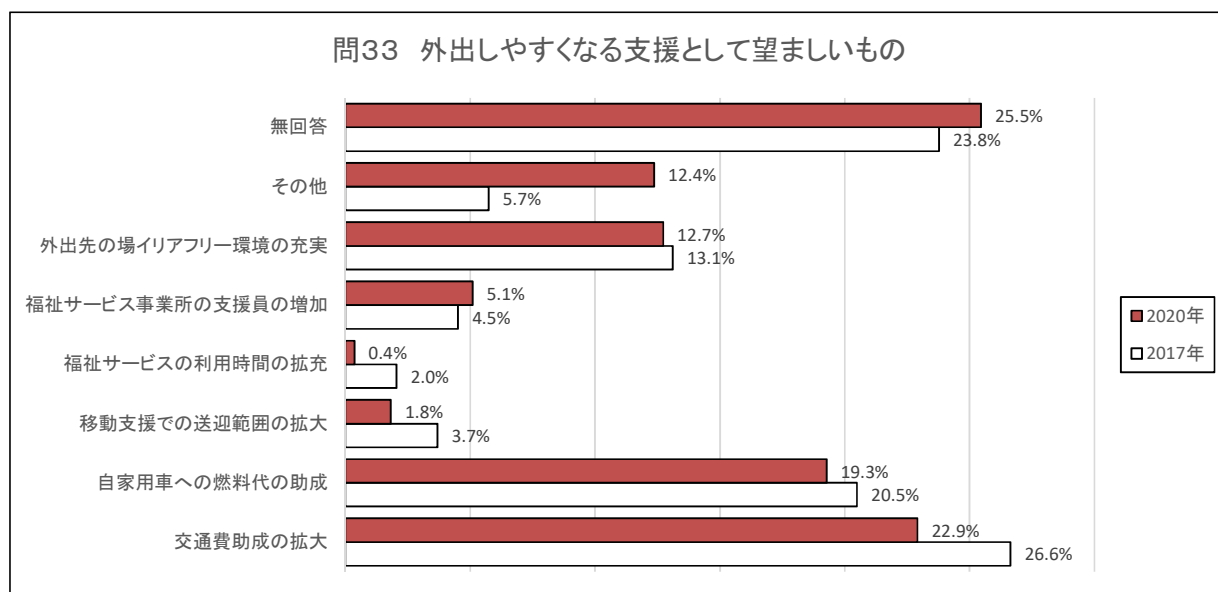
問32 外出の目的(特に多いと思う3つを選択)

実施年	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人に会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩	その他
2020年	60 9.9%	19 3.1%	192 31.7%	180 29.7%	55 9.1%	46 7.6%	14 2.3%	23 3.8%	17 2.8%



問33 外出しやすくなる支援として望ましいもの

実施年	交通費助成の拡大	の自家用車への燃料代	の移動支援での送迎範囲の拡大	時間の福祉サービスの利用	の福祉サービスの増加	の福祉サービスの増加	の福祉サービスの増加	その他	無回答
2017年	65 26.6%	50 20.5%	9 3.7%	5 2.0%	11 4.5%	32 13.1%	14 5.7%	58 23.8%	
2020年	63 22.9%	53 19.3%	5 1.8%	1 0.4%	14 5.1%	35 12.7%	34 12.4%	70 25.5%	



問34 教育環境として望ましいもの

実施年	ポト常 ト学 体級 制で のサ	ポト通 ト級 体指 制導 でのサ	サ特 ポト ト支 体援 制学 級で のサ	の特 サ特 ポト ト支 体援 制学 校で	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
2017年	21 9.0%	3 1.3%	14 6.0%	9 3.9%	91 39.1%	10 4.3%	85 36.5%
2020年	30 10.9%	4 1.4%	19 6.9%	15 5.4%	88 31.9%	18 6.5%	102 37.0%

問35 学校生活を送る上で困ったこと(複数回答可)

実施年	通学手段	学習サポート体制	学校設備	介助体制	進路指導	つまらない	教職員の理解	他の児童生徒や保護者の理解	家族の付き合いが求められる	特になし	その他
2017年	13 8.7%	7 5.3%	1 0.8%	2 1.5%	5 3.8%	5 3.8%	7 5.3%	6 4.6%	2 1.5%	83 63.4%	19 14.5%
2020年	12 6.5%	7 3.8%	4 2.2%	3 1.6%	3 1.6%	4 2.2%	14 7.5%	5 2.7%	2 1.1%	117 62.9%	15 8.1%

問36 インクルーシブ教育に必要なこと

実施年	道路の大型整備	建物内外や周辺道の整備	学校内の既存設備の整備	ICT機器などの整備	慮がい特性への配慮	障がいに対する理解促進	障がいに対する理	専門性のある教職員の配置	公的サービスなどの支援	関係機関の連携	わからない	特になし	育は必要ない	インクルーシブ教育	その他	無回答
2017年	3 1.2%	10 3.9%	5 1.9%	28 10.8%	24 9.3%	19 7.3%	6 2.3%	10 3.9%	49 18.9%	28 10.8%	1 0.4%	2 0.8%	74 28.6%			
2020年	4 1.5%	6 2.2%	6 2.2%	27 9.9%	21 7.7%	9 3.3%	12 4.4%	11 4.0%	50 18.2%	37 13.5%	0 0.0%	2 0.7%	89 32.5%			

問37 仕事の状況

実施年	仕事をしている	仕事をしていない	仕事をしたくない	無回答
2017年	59 25.4%	142 61.2%	3 1.3%	28 12.1%
2020年	69 25.1%	172 62.5%	5 1.8%	29 10.5%

問38(1) 仕事の形態(複数回答可)

実施年	自営業	家業の手伝い	正規の社員・職員	パート・日雇い・臨時・嘱託	有償ボランティア	内職	通所サービス	その他
2017年	11 17.5%	6 9.5%	9 14.3%	9 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	24 38.1%	4 6.3%
2020年	25 34.7%	4 5.6%	11 15.3%	9 12.5%	1 1.4%	2 2.8%	18 25.0%	2 2.8%

問38(2) 仕事の見つけ方

実施年	自分で探した	就労支援センター	ハローワーク	福祉サービス事業所	学校	友人・知人・近所の人	職業訓練校	行政	障がい認定前と同じ職場	その他	無回答
2017年	21 33.3%	1 1.6%	1 1.6%	6 9.5%	5 7.9%	3 4.8%	1 1.6%	2 3.2%	4 6.3%	13 20.6%	6 9.5%
2020年	16 16.0%	1 1.0%	1 1.0%	4 4.0%	4 4.0%	9 9.0%	1 1.0%	2 2.0%	6 6.0%	13 13.0%	43 43.0%

問38(3) 仕事をする上での不安や不満(複数回答可)

実施年	設備が不十分	安全への配慮	相談できる人がいない	通勤が大変	仕事内容が合っていない	職場の人間関係	昇給や昇進の不平等	収入が少ない	健康保険・厚生年金がない	仕事内容がむずかしい	勤務時間が長い	病気や障がいへの理解不足	正職員になれない	受診のための休みが取りにくい	不安や不満はない	その他
2017年	3 3.4%	1 1.1%	5 5.6%	4 4.5%	6 6.7%	7 7.9%	3 3.4%	16 18.0%	1 1.1%	2 2.2%	4 4.5%	5 5.6%	4 4.5%	1 1.1%	21 23.6%	6 6.7%
2020年	3 3.8%	1 1.3%	5 6.4%	0 0.0%	2 2.6%	9 11.5%	1 1.3%	15 19.2%	3 3.8%	1 1.3%	2 2.6%	4 5.1%	1 1.3%	1 1.3%	25 32.1%	5 6.4%

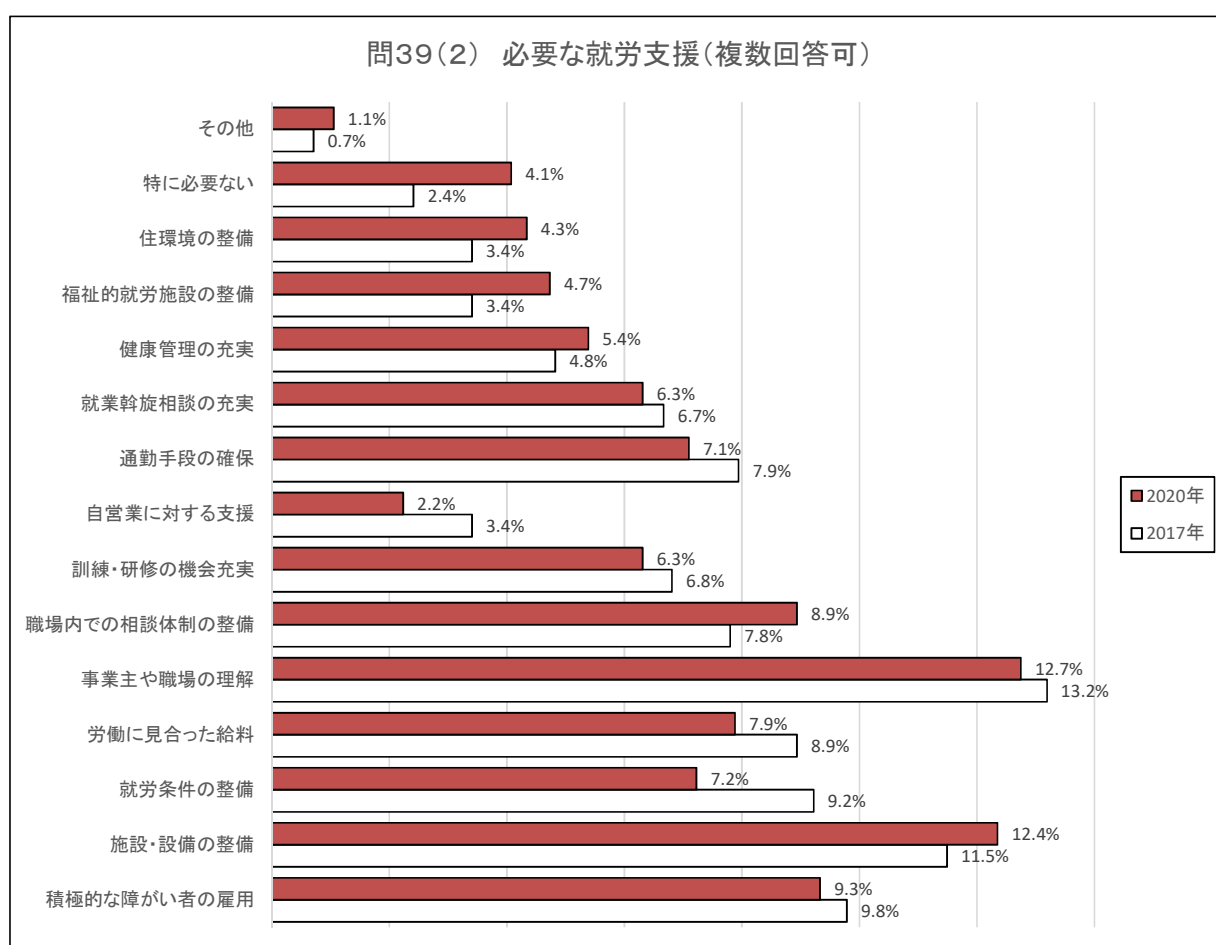
問39(1) してみたい仕事

実施年	事務系	福祉系	農業	自動車整備	料理人	社会奉仕活動	その他	したい仕事はない	無回答
2020年	8 2.9%	2 0.7%	2 0.7%	2 0.7%	2 0.7%	2 0.7%	12 4.3%	153 55.4%	93 33.7%

※その他には、イラストレーター、医療系、消防士、教員、軽作業、楽しい仕事など

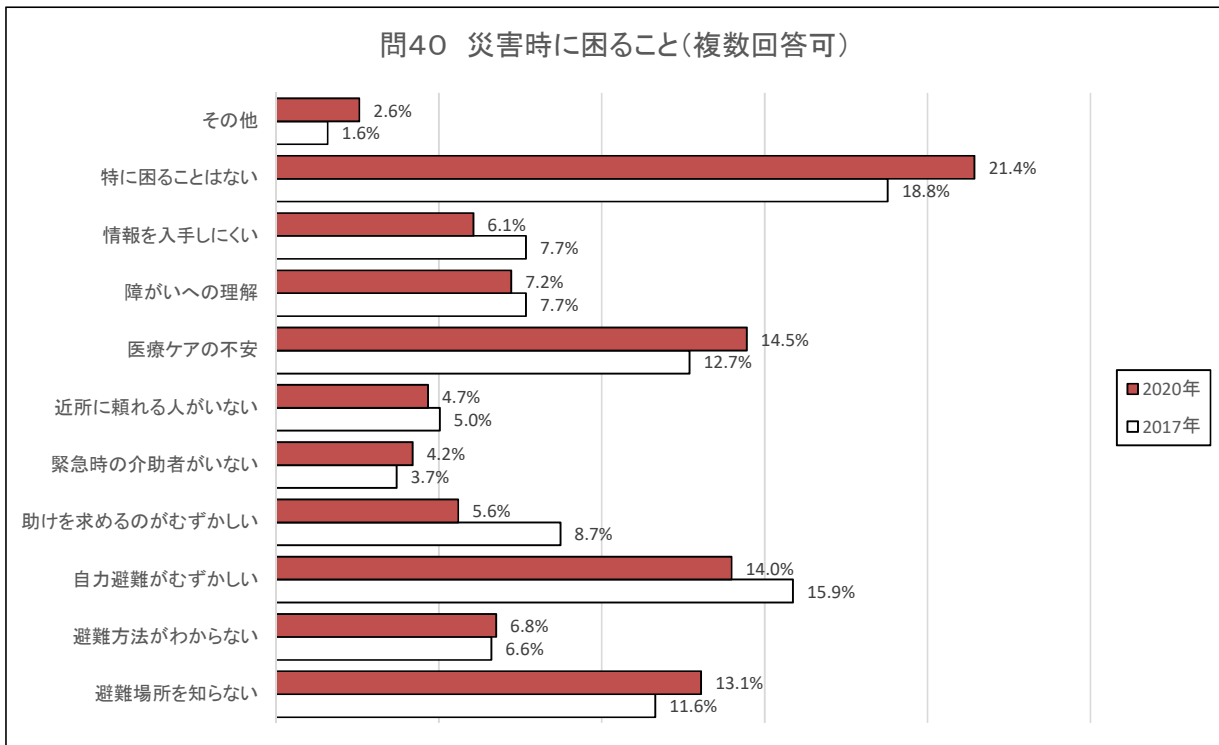
問39(2) 必要な就労支援(複数回答可)

実施年	積極的な障がい者の雇用	施設・設備の整備	就労条件の整備	労働に見合った給料	事業主や職場の理解	職場内での相談体制の整備	訓練・研修の機会充実	自営業に対する支援	通勤手段の確保	就業斡旋相談の充実	健康管理の充実	福祉的就労施設の整備	住環境の整備	特に必要ない	その他
2017年	69 9.8%	81 11.5%	65 9.2%	63 8.9%	93 13.2%	55 7.8%	48 6.8%	24 3.4%	56 7.9%	47 6.7%	34 4.8%	24 3.4%	24 3.4%	17 2.4%	5 0.7%
2020年	71 9.3%	94 12.4%	55 7.2%	60 7.9%	97 12.7%	68 8.9%	48 6.3%	17 2.2%	54 7.1%	48 6.3%	41 5.4%	36 4.7%	33 4.3%	31 4.1%	8 1.1%



問40 災害時に困ること(複数回答可)

実施年	避難場所を知らない	避難方法がわからない	自力避難がむずかしい	助けを求めがむずかしい	緊急時の介助者がいない	近所に頼れる人がいない	医療ケアの不安	障がいへの理解	情報を入手しにくい	特に困ることはない	その他
2017年	44 11.6%	25 6.6%	60 15.9%	33 8.7%	14 3.7%	19 5.0%	48 12.7%	29 7.7%	29 7.7%	71 18.8%	6 1.6%
2020年	56 13.1%	29 6.8%	60 14.0%	24 5.6%	18 4.2%	20 4.7%	62 14.5%	31 7.2%	26 6.1%	92 21.4%	11 2.6%



問41 自主避難ができるかどうか

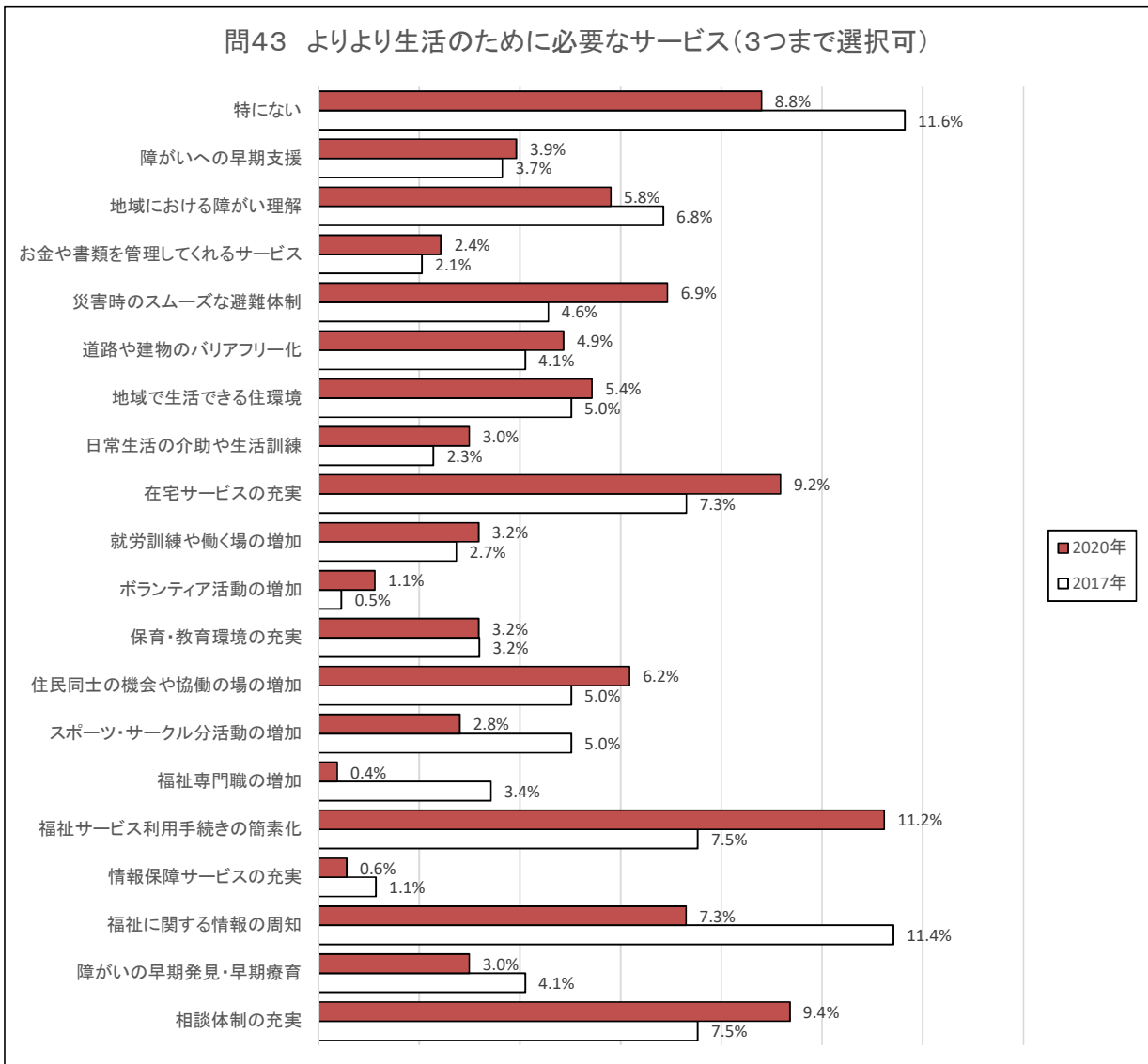
実施年	できる	できない	わからない	無回答
2020年	104 37.8%	96 34.9%	52 18.9%	23 8.4%

問42 災害時に障がいを理解してもらいにくい理由

実施年	障がい特性への理解がされない	身体特性に対する対応が困難	他者とのコミュニケーションが上手にできない
2020年	18 54.5%	4 12.1%	11 33.3%

問43 よりよい生活のために必要なサービス(3つまで選択可)

実施年	相談体制の充実	障がいの早期発見・早期療育	福祉に関する情報の周知	情報保障サービスの充実	福祉サービス利用手続きの簡素化	福祉専門職の増加	スポーツ・サークル分活動の増加	住民同士の機会や協働の場の増加	保育・教育環境の充実	ボランティア活動の増加	就労訓練や働く場の増加	在宅サービスの充実	日常生活の介助や生活訓練	地域で生活できる住環境	道路や建物のバリアフリー化	災害時のスムーズな避難体制	お金や書類を管理してくれるサービス	地域における障がい理解	障がいへの早期支援	特にない	その他
2017年	33 7.5%	18 4.1%	50 11.4%	5 1.1%	33 7.5%	15 3.4%	22 5.0%	22 5.0%	14 3.2%	2 0.5%	12 2.7%	32 7.3%	10 2.3%	22 5.0%	18 4.1%	20 4.6%	9 2.1%	30 6.8%	16 3.7%	51 11.6%	4 0.9%
2020年	50 9.4%	16 3.0%	39 7.3%	3 0.6%	60 11.2%	2 0.4%	15 2.8%	33 6.2%	17 3.2%	6 1.1%	17 3.2%	49 9.2%	16 3.0%	29 5.4%	26 4.9%	37 6.9%	13 2.4%	31 5.8%	21 3.9%	47 8.8%	7 1.3%

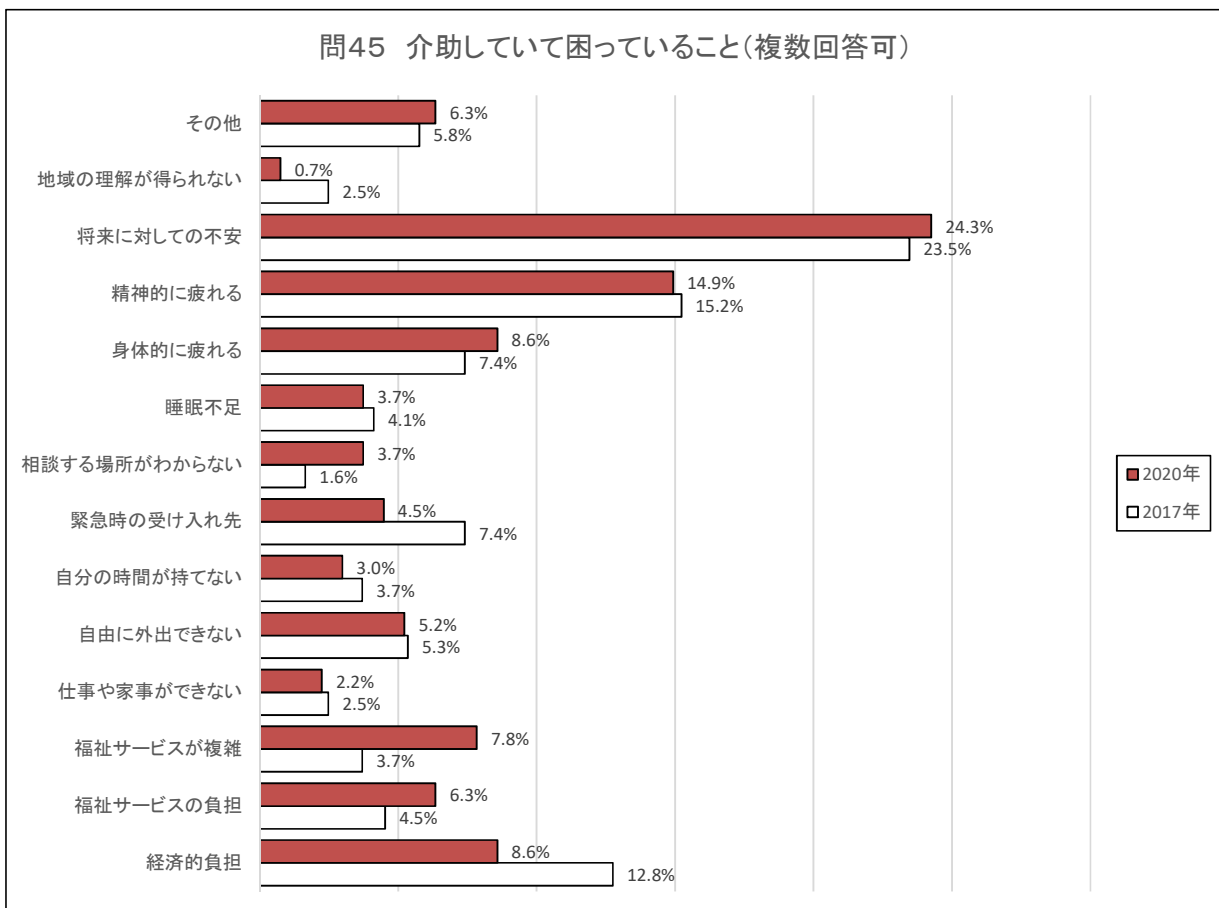


問44 介助者の年齢

実施年	10歳代	20-39歳	40-59歳	60-64歳	65-74歳	75歳以上	無回答
2017年	0	6	61	16	32	31	1
2020年	1	10	44	22	45	35	119

問45 介助していて困っていること(複数回答可)

実施年	経済的負担	福祉サービスの負担	福祉サービスが複雑	仕事や家事ができない	自由に外出できない	自分の時間が持てない	緊急時の受け入れ先	相談する場所がわからない	睡眠不足	身体的に疲れる	精神的に疲れる	将来に対しての不安	地域の理解が得られない	その他
2017年	31 12.8%	11 4.5%	9 3.7%	6 2.5%	13 5.3%	9 3.7%	18 7.4%	4 1.6%	10 4.1%	18 7.4%	37 15.2%	57 23.5%	6 2.5%	14 5.8%
2020年	23 8.6%	17 6.3%	21 7.8%	6 2.2%	14 5.2%	8 3.0%	12 4.5%	10 3.7%	10 3.7%	23 8.6%	40 14.9%	65 24.3%	2 0.7%	17 6.3%



自由記載欄での主な意見等

<p>専門性を持って、福祉関係の仕事を従事している方が、長期にわたって、腰を据えて、専心できる環境で働き続けてもらいたい。高齢者、障がい者にとって知っている人が介助してくれることぐらい安心な事はないと考えるからです。今まで知らなかった人、新人の方と人間関係を作ることが最も困難と感じる。(75歳以上 女性 家族)</p>
<p>65歳の壁。障がい者が介護認定者かの区割りで、支援や援助が変わることが不安でした。また、ヘルパー介護員が少ない事が今後不安です。(65～74歳 女性 本人)</p>
<p>旭川の病院に通院しているため、町から助成していただくタクシーチケットも数回の通院で無くなってしまいます。バスも1人では乗れないため家族の世話になっており、自家用車の燃料代も馬鹿になりません。もう少し個人の利用程度に応じて、臨機応変に対応してもらいたいです。(65～74歳 女性 本人)</p>
<p>相談してから支援に結び付けるまでがスピーディーで助かりました。町内で支援が必要な人同士が支え合ったり、支援する家族同士がつながったりすることができない。(0～17歳 その他 家族)</p>
<p>各種助成、施設などまた相談体制などについて、福祉施策に対してはほぼ満足しています。不安なのは、親亡き後の生活支援がどうなるか、どう準備すべきか難しいです。ある程度形が見えれば安心できるのですが。(30～39歳 男性 本人)</p>
<p>現在受けている給付や補助については、手続きから支給・交付までの流れはスムーズであったし、不明な点も聞けば丁寧に説明してくれた。また申請から支給・交付に至るまでの日にちもそれ程待たされた感じはなかったので、これからも変わらない事を希望します。(40～49歳 男性 本人)</p>
<p>住民センターでサークル活動とか北野サロン等が行われているが、色々な活動に場所まで行くのが遠くて、歩いて行くことができない。(75歳以上 男性 本人)</p>
<p>障がい者たちの集会がないことに疑問。障がい者は殻に閉じこもっています。共に励まし、慰め合うことが必要かと思います。障がい者同士でなければ理解するのは難しいので互いに心から話し合える人が見つかるのなら楽しいのではないのでしょうか。障がい者達だけで行えるスポーツもあると良いです。色々な面で障がい者はおざなりにされているのではないのでしょうか。(75歳以上 女性 本人)</p>
<p>旭川市の福祉サービスと比べてしまうことがままあります。もちろん違っても良いはずなのですが、鷹栖の方が良い(旭川市よりも良いサービス)ことがあっても…。なんて思う時があります。(50～64歳 女性 家族)</p>
<p>海洋クラブでは小学校の頃よりお世話になっていて、今の現状になってから役場の方達とスポーツをたまにやらせてもらってます。とても良い気分転換になっているので助かります。(0～17歳 女性 本人)</p>
<p>私が運転出来ないため夫の病院へ顔を出すのに乗せてくれる人が居たため、3か月間通えることが出来ました。周囲も高齢になってくるので、こういう時の送迎も町で考えてくれたら有難いと思います。娘達が地方にいるため、毎週土曜日に来てくれて買物は間に合いました。病院に行くにしても直行のバス便はないし、面会が14時からなので時間のロスが生じ、一日仕事になってしまう。乗り換えのある病院は、不便さを感じます。(50～64歳 女性 家族)</p>
<p>定年を機に福祉の町と聞いて期待して住み始めて、自分が元気な時はボランティア、趣味など近所の方、知人、友人もでき楽しく暮らしていましたが、病気になり、動きに不自由を感じ、病院に行くにも毎週大変で、今後のことを考えると不安を感じます。現在は夫の車で送迎してもらっていますが、夫も77歳になると、後期高齢者となり、いつまでも頼れないと不安を思っています。現在、毎週通院治療を受けているので、せめて、月の半分でも送迎してもらえないものか、交通費の負担の援助が出来ないものか願っています。(65～74歳 女性 本人)</p>
<p>本人は旭川で活動している働く仲間の会に入っていますが、支援者は鷹栖共生会の職員やボランティアが担っています。ほかほかハートのつどいも同様ですが、支援体制が脆弱と言え、周囲の善意に支えられている状況にあります。日々の暮らして精一杯の障がい者にとって、“より良い生活”はイメージが難しいようにも思います。そうした意味でも社会教育の充実、当事者支援に対しての施策を期待しています。(50～64歳 男性 本人)</p>
<p>私の場合、いつ具合が悪くなって寝込むのかわからないので、仕事につけないという事があります。昨年は社会福祉協議会さんのほっとカフェなどのお手伝いなどをしていました。このように、短時間で融通のきくような仕事があればしてみたいです。(18～29歳 女性 本人)</p>
<p>包括支援センターの方にいろいろお世話になり助かっています。本人は自分のことは何でも出来るため、今のところ介助で身体的に疲れることはありませんが、本人は最近「早くお迎えに来てほしい」と言うことが多くなり、それを聞くのがとても辛いです。(75歳以上 女性 本人)</p>
<p>日頃の福祉課の職員さんの取り組みにはとても感謝の気持ちで一杯です。これからも情報化時代で続きますが、ホームページからもっと情報を得られるように内容をリニューアルして頂きたいです。(50～64歳 男性 本人)</p>
<p>概ね満足しています。趣旨に合っているかは分かりませんが、まだ大丈夫だとは思いますが、個人的に親亡き後のことが親がどう思っているのかが全くわからず、少し不安です。親亡き後のことを親と障がい当事者が一緒に参加できて、お互いに考えて共有できるような研修などはいかがでしょうか？講師に専門家(親亡き後に詳しい人)を呼んだり。そんな機会があれば良いなと思います。(30～39歳 男性 本人)</p>
<p>鷹栖に住み始めた時から鷹栖町の福祉課を始め沢山の方から暖かくご支援いただいで感謝しています。旭川に住んでいた時よりも福祉サービスも迅速に対応していただけます。今後、学校卒業後の生活を親だけでは支えていけなくなるので色々お世話になる事が増えそうです。福祉サービスを越えた町民同士の支え合いがもっと進んで欲しいです。介助者である親も隙間の時間に働けるシステムがあれば相互扶助ができて良いのになと思います。(0～17歳 女性 家族)</p>